

クラブ活動紹介

本校のクラブは、体育部、文化部、研究部に28のクラブが所属しており、愛好会として今年度は5つのサークルが設立されています。高体連や高文連に加盟しているクラブもあり、3年生までは高校生と同じ大会に参加しています。4・5年生は、高専体育大会などの高専独自の大会に参加するとともに一部クラブは、大学生の大会へも参加しています。

また、「高専4大コンテスト」として、「ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、英語プレゼンテーションコンテスト」が毎年開催されており、本校学生は積極的に参加し、優秀な成績を収めています。

体育部

陸上競技／バスケットボール／バレーボール／ソフトテニス／テニス／卓球／柔道／剣道／サッカー／野球／水泳／山岳／空手道／サイクリング／ラグビー／バドミントン／弓道

文化部

天文／写真／無線通信／吹奏楽／美術／将棋／茶華道／演劇

研究部

ロボット技術研究会／エネルギー研究会／ソフトウェア研究会

サークル

分子生物学愛好会／アンサンブル愛好会／化学実験サークル／ストリートダンスサークル／英語サークル



卓球部



ロボット技術研究会



エネルギー研究会



吹奏楽部

磐陽祭(高専祭)案内

日時 平成28年
11月5日(土)
10時～15時30分

プロジェクトR

- reduce reuse recycle
捨てるのは君の羞恥心だけ -

毎年多くの来場者で賑わう福島高専最大のイベント「磐陽祭」。オープンキャンパスとして、5専門学科と専攻科及び各センター等の公開や学生の企画展示・模擬店並びに吹奏楽やストリートダンスサークルの発表などがあります。学校紹介コーナーでは、本校教員が高専への進学に関し、受験生の相談に応じます。是非来場ください。

※構内に駐車場がありませんので来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※詳しい情報は、学校ホームページに掲載します。

磐陽寮(学生寮)案内

福島高専の学生寮は、学校の敷地内にあります。遠隔地から入学する学生に就学の便を与えると同時に、規律ある集団生活を通じてお互いを敬う気持ちを育てることを目標とする「教育寮」です。遠隔地からの学生で入寮を希望する者は、入寮できます。



ビジネスコミュニケーション学科

都市システム工学科

化学・バイオ工学科

電気電子システム工学科

機械システム工学科



平成29年4月福島高専工学系4学科が生まれ変わります。

機械工学科 → 機械システム工学科

電気工学科 → 電気電子システム工学科

物質工学科 → 化学・バイオ工学科

建設環境工学科 → 都市システム工学科

文系学科の「ビジネスコミュニケーション学科」は、平成28年4月に改組しました。



入試情報

[推薦による選抜]

平成29年1月14日(土)

検査会場／福島高専 検査内容／面接

[学力による選抜]

平成29年2月19日(日)

検査会場／いわき会場／福島高専 郡山会場／郡山女子大学
会津若松会場／城南スクール
検査科目／国語・社会・数学・理科・英語

[合格発表日]

平成29年2月24日(金)

※学力検査は、マークシート方式で実施します。
出願等の詳細については募集要項をご覧ください。

交通アクセス

JR

◎品川ーいわき 特急ひたちで約2時間30分

◎郡山ーいわき 普通列車で約1時間40分

いわき駅からバスで約10分

※新常磐交通:6番のりば鹿島経由小名浜行・郷ヶ丘行・明星大学行きのいずれかに乗車し、「高専前」で降車

自動車

◎高速道路利用の際は、常磐自動車道「いわき中央IC」から約15分

高速バス

◎各方面からいわき行き的高速バスも運行されております

Access



独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校

福島県いわき市平上荒川字長尾30 電話:0246-46-0700(代表)

URL:<http://www.fukushima-nct.ac.jp>



独立行政法人国立高等専門学校機構

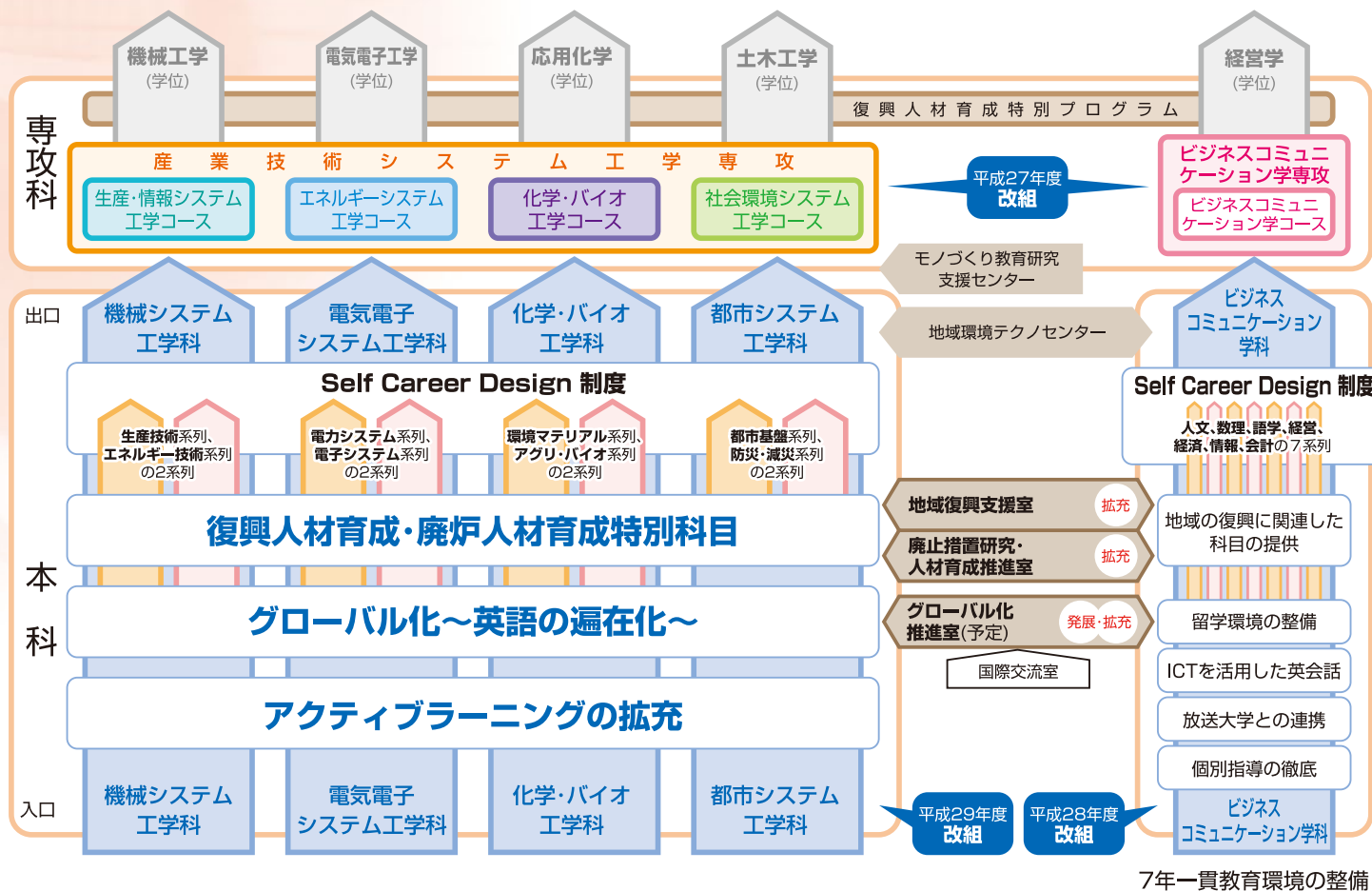
福島工業高等専門学校

改組の概要

●平成29年度から工学系4学科をそれぞれ改組して、**イノベーション・コースト構想(東日本大震災からの復興、廃炉等)への対応、世界に活躍するグローバル人材の育成、創意工夫ができるイノベーション人材の育成**を行います。平成27年度の専攻科改組、平成28年度のコミュニケーション情報学科のビジネスコミュニケーション学科への改組に続くもので、社会環境の変化、社会及び学生のニーズの変化に対応した切れ目のない改革が可能になります。

●機械工学科は**生産技術系列とエネルギー技術系列を有する機械システム工学科**に、電気工学科は**電力システム系列と電子システム系列を有する電気電子システム工学科**に、物質工学科は**環境マテリアル系列とアグリ・バイオ系列を有する化学・バイオ工学科**に、建設環境工学科は**都市基盤系列と防災・減災系列を有する都市システム工学科**に改組します。ここで言う系列は一般のコースとは異なり、そこに所属するのではなく、取得する科目群によって分類されるものです。専門基礎科目を重視しつつも、学生が主体的に選択できる科目を増やし、**キャリアパスをデザインできるSelf Career Design制度を全学科に導入**します。

●改組に併せ、**復興人材育成・廃炉人材育成、グローバル化、アクティブラーニング等**の全学科に共通する教育をさらに発展させます。



福島高専の国際化への取組

本校が掲げているスローガン「いわきから世界に活躍するイノベーション人材を育てる」により、グローバル人材の育成を行うための様々な取組を行っています。

海外の大学などとの学術交流

平成22年度から、フランスIUTと東北地区6高専との包括協定が始まり、平成24年度から、フランス人学生の受入れと学生のフランスへの派遣がスタートしました。平成26年度には、いわき市の姉妹都市であるオーストラリアのタウンズヴィルにあるジェームズクック大学と学術交流協定を結び、学生を海外インターンシップに送りだしています。平成27年度には、メキシコのグアナファト大学及び付属高校をつなぐグアナファト高専と学術交流協定を、いわき市の姉妹都市である中国撫順にある撫順職業訓練学院と学術交流協定締結に向けて、その前段階となる協力意向書を取り交わしました。今後の交流が期待されています。

外国人留学生の受入れ

長期、短期の留学生を受け入れています。現在、在籍している長期の留学生は、国費留学生とモンゴル政府派遣の留学生です。3学年に編入学し、日本人同様、授業に出席し、単位を取得して、3年後に卒業します。短期留学生は、指導教員の下で研究活動を行います。

学生の海外への送出し

3年生対象のアジア地区インターンシップ(3月に約2週間実施)及び専攻科生対象のフランス・オーストラリア地区インターンシップ(夏に2〜3ヶ月実施)があります。さらに、トビタテ! 留学JAPANのプログラムで毎年多くの学生が留学しています。

学生及び教職員の語学力向上のための取組

民間の語学教育会社との協働によるTV電話によるオンラインでの英語学習や教職員向けの英語講座も開催しています。

機械システム工学科

- 全学年を通して機械工学科のコアとなる科目を適切に配置します。
- 4・5学年では、エネルギー技術系列と生産技術系列の2系列に廃炉工学や原子力事故総論などの廃炉に関連した科目、エネルギー機械や環境・エネルギー工学概論などのエネルギーに関連した科目、シーケンス制御やロボット制御工学などのロボット技術に関連した科目を配置し、系統的発展的に応用性・専門性の高い知識が習得できます。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

- ①ロボット技術や機械の仕組みに興味があり、アイデアを形にしたい人
- ②環境にやさしいエネルギー技術に関心のある人
- ③モノづくりの知識と技術を身に付けて、将来、地域の発展に貢献したい人

養成する人材像

機械工学の専門知識を持って他分野の技術も取り入れることで、高度化するシステムに対処し、常に発展する新しいモノづくりを担うことができる機械技術者の育成

これまでの進路実績と改組後増加が見込まれる業種・分野

実績 アルパイン技研(株)、JFEスチール(株)、(株)スタンレーいわき製作所、竹内精工(株)、(株)タンガロイいわき工場、東海旅客鉄道(株)、東京電力(株)、日立建機(株)、本田技研工業(株)、ユニ・チャームプロダクツ(株)、福島高専専攻科への進学、国公立大学への編入学等

【増加が見込まれる業種等】
ロボットの設計(主にハード面)、製造分野・製造現場における生産技術系職員



電気電子システム工学科

- 電力システム系列、電子システム系列の2系統を基軸とし、電気(電力)、電子(エレクトロニクス)、情報の3本柱となる教育内容を網羅する形で学習し、4・5学年においては、さらに高度な内容の科目選択、または、学生個々人の将来を見据えた多様性のある選択ができます。
- 新しい分野としては、電力情報(電力のベストミックス・効率化を考えた電力経営)と制御情報(ロボットのソフト部門の制御技術)の教育を行います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

- ①ロボット制御技術、エネルギー技術、情報通信技術に興味があり、将来、その技術者として社会に貢献したい人
- ②電気回路やコンピュータ、センサなどを駆使して、様々なシステムをつくりあげたい人
- ③電気・電子・情報について学んだ知識を応用して、自分のアイデアを形にしたい人
- ④電気電子技術をベースとして、農林水産業、サービス業など様々な業種に関心を持ち、これらの産業を活性化したいと考えている人

養成する人材像

電気・電子・情報の技術を応用することでシステムを構築し、産業界の多様な問題を解決できるクリエイティブな技術者の育成

これまでの進路実績と改組後増加が見込まれる業種・分野

実績 会津オリンパス(株)、アルパイン(株)、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー、クリナップ(株)、セイコーエプソン(株)、東北電力(株)、日本電設工業(株)、日本放送協会、古河電池(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、福島高専専攻科への進学、国公立大学への編入学等

【増加が見込まれる業種等】
電力生産技術者、ロボット開発技術者(主にソフト面)



化学・バイオ工学科

- 専門基礎科目を重視しつつも、学生が主体的に選択できる科目を増やした柔軟なカリキュラムです。
- 旧学科で開講していた機能材料・生物学関連科目に加えて、環境マテリアル系列では物質資源のリサイクルなどを学ぶ廃棄物資源循環化学、廃炉・復興過程での環境・廃棄物の分析にも対応できる技術を学ぶ環境分析化学など、アグリ・バイオ科目群では農水産物の高度利用を学ぶ生物資源化学、食品機能化学などの新設科目を開講します。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

- ①化学やバイオテクノロジーの知識と技術を身に付けて、将来、その技術者として地域・社会に貢献したい人
- ②地球に優しい化学技術や新素材をつくり、環境問題の解決、持続可能な社会の構築を目指したい人
- ③学んだ化学・バイオ技術を、農林水産資源の生産・管理や有効活用に役立てたいと考える人

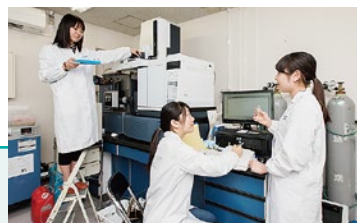
養成する人材像

持続可能な社会を実現するために、物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、生物化学などの基礎専門知識を身につけ、化学品、材料、食品など物質生産の分野において幅広く活躍できる化学エンジニアの育成

これまでの進路実績と改組後増加が見込まれる業種・分野

実績 カゴメ(株)、極東製薬(株)、(株)クレハ、(株)サンフレックス永谷園、三洋化成(株)、中外製薬工業(株)、東京ガス(株)、東洋システム(株)、トーアエイヨー(株)、和光純薬工業(株)、福島高専専攻科への進学、国公立大学への編入学等

【増加が見込まれる業種等】
環境・リサイクル産業、農林水産物・食品関連産業、公的研究機関



都市システム工学科

- 4学年までに構造力学、土質力学、コンクリート工学、環境工学、地域計画、工学実験・演習などにより専門基礎を教育します。
- 5学年で都市基盤系列(ハード)及び防災・減災系列(ソフト)に分かれ、前者では維持管理・長寿命化・補修・補強・劣化予測・検査技術などを、後者ではマネジメント・災害予測・ハザードマップ・復興計画などを教育し、社会ニーズに即した土木技術者を育成します。

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

- ①自然環境と調和した建設技術に興味を持っている人
- ②道路・橋・港など建設構造物の維持管理に興味を持っている人
- ③災害に負けない安全なまちづくりに貢献したい人

養成する人材像

持続可能な建設技術を基礎に、社会基盤施設の維持・管理や自然災害に対する防災・減災分野でも活躍できるシビルエンジニアの育成

これまでの進路実績と改組後増加が見込まれる業種・分野

実績 いわき市、いわき道路(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、クレハ建設(株)、(株)竹中土木、東海旅客鉄道(株)、東京水道サービス(株)、東北電力(株)、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)、(株)ふたば、福島高専専攻科への進学、国公立大学への編入学等

【増加が見込まれる業種等】
維持管理技術を開発する建設業やコンサルタント、防災減災業務に従事できる国家・地方公務員

